

平成29年度 瀬谷西高等学校 不祥事ゼロプログラム 検証結果

【評価基準】

- A 行動計画を完全に実施し、事故・不祥事防止に十分な成果があった。
- B 行動計画を実施し、事故・不祥事防止の成果があった。
- C 行動計画を実施したが、事故・不祥事防止に効果的でなかった。
- D 行動計画の実施が不十分であった。

<共通課題> ① 法令遵守意識の向上

目標	行動計画	達成事項	推進担当: キャリア活動支援G	評価
			反省点・課題	
i	今年度も引き続き、公務外非行に関する事故・不祥事やヒヤリハットの事例集を作成・配付し、事故・不祥事の未然防止を図る。	10月(懲戒処分について)、2月(教員としての自覚)の事故防止会議において、具体的な事例を紹介し、公務員としての自覚と危機管理の意識を啓発した。	今後もより意識が高められるよう継続していく必要がある。	A
ii	通常の職員の服務についてだけでなく「職員行動指針」についても職員に周知徹底し、様々な事故・不祥事を未然に防ぐとともに、不祥事に対して適切な対応をとれるようにする。	事故防止会議において、不祥事チェックリストを配布し、公務員としての自覚と危機管理の意識を啓発した。	今後もより意識が高められるよう継続していく必要がある。	A

<共通課題> ② セクハラ・わいせつ行為の防止

目標	行動計画	達成事項	推進担当: 生徒活動支援G	評価
			反省点・課題	
i	平成29年9月に全職員にスクールセクハラ等の啓発資料を配付し、セクハラ・わいせつ行為の防止を啓発する。	9月の事故防止会議にセクシャル・ハラスメントにかかるアンケート調査結果及び「教員のわいせつ行為を無くせ」についての新聞記事を配布し、セクハラ・わいせつ行為防止に関する意識啓発を行った。	今後もより意識が高められるよう継続していく必要がある。	A
ii	平成29年9月にスクールセクハラ自己チェックを実施し、スクールセクハラ防止の啓発を図る。	同上事故防止会議で「STOP! ザ・セクシャルハラスメント」を配布し、自己チェックを実施した。	今後もより意識が高められるよう継続していく必要がある。	A
iii	部活動インストラクター、教育実習生等に対しても、人権意識に関する注意を喚起する。	校長面接終了後に、部活動指導ハンドブック(部活動インストラクター編)を配布し注意を喚起した。教育実習生に関しては指導教諭から注意を喚起した。	把握が不十分な部分もあるため、より多くの教員で見えていく必要がある。	A

<共通課題> ③ 体罰・不適切指導の防止

目標	行動計画	達成事項	推進担当: 生活指導G	評価
			反省点・課題	
i	平成29年7月までに体罰や不適切な指導等の防止や指導の基準に関わる啓発資料を職員会議等で配付し、意識啓発を図る。また、さまざまな場面を想定したケーススタディなども取り入れる。	7月の事故防止会議で「事例から考える」<部活指導と体罰>を配布し、意識啓発を行った。	今後もより意識が高められるよう継続していく必要がある。	A
ii	生徒指導等の際には、複数の教員であたるなど、適切な対応を行う。	本校の「生活指導の手引き」の基準に従い、きめ細かく丁寧な指導・対応を行った。	適切な指導、対応がなされた。	A

<共通課題> ④ 成績処理及び通知票や進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

目標	行動計画	達成事項	推進担当: 学習G及びキャリア支援G	評価
			反省点・課題	
i	学期末の成績処理に係る点検項目を明確に示し、誤入力や点検漏れ防止の徹底を図る。また、日常の担当者個人段階でのミスを防ぐよう注意喚起する。	成績処理日程及び成績処理マニュアル(チェック欄含む)を作成し、全職員に周知した。	成績処理期間における成績のチェック体制は十分であるが、日常における担当者個人の段階での確認作業のさらなる徹底が必要である。	A
ii	新成績処理支援システムに関するマニュアル兼用のチェック表を十分に活用し、円滑な運用に向けた研修会を開催する。	6月の事故防止会議及び各学年会において成績処理、通知表、調査書等の事故防止の徹底を図った。	今後もミスが起こらぬよう丁寧に対応する必要がある。	A
iii	進学・就職・推薦それぞれの調査書点検に関するマニュアル兼用のチェック表を活用し、担当者対象の説明会等で周知する。	学事学習G・キャリア支援G・3学年が密に連携を取りつつ、マニュアル兼用のチェックシートを学年会で周知徹底した。	今後もミスが起こらぬよう丁寧に対応する必要がある。	A

<共通課題> ⑤ 個人情報等管理、情報セキュリティ対策

目標	行動計画	達成事項	推進担当: 総務・管理G	評価
			反省点・課題	
i	平成29年4月に情報セキュリティに関わる規則等を職員会議等で全体に周知し、個人情報等の管理の徹底を図る。	年度当初の事故防止会議において、基本的な情報セキュリティに関する事項について確認し、個人情報の管理及び、情報発信についての徹底を図った。	特になし。	A
ii	平成29年9月までに公務用端末等を整理し、台帳及び管理簿等の確認を行う。	11月の情報セキュリティ監査に合わせて、USB等の台帳及び管理簿の確認を行った。	外部記録媒体等の貸出し状況について、必要最低限に抑える努力が必要である。	A
iii	平成29年11月までに校内ネットワーク運用規定を点検し、校内ネットワーク使用における情報セキュリティ対策の充実を図る。	11月の情報セキュリティ監査に合わせて、校内ネットワーク運用規程を点検し、打ち合わせにて共有した。	ネットワークの運用について、職員に対して細かい記載が必要である。	A
iv	学校ウェブサイトにおける個人情報・著作権・肖像権に十分配慮して、常に最新の情報になるよう更新に努める。	適切に更新を行った。	学校広報に必要な情報を職員が適切かつ積極的に発信できるような運用細則が必要である。	B

<共通課題> ⑥ 交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

目標	交通事故の防止と酒酔い・酒気帯び運転を防止する。		推進担当: 研究・広報G
	行動計画	達成事項	反省点・課題
i	平成29年11月までに自家用自動車通勤者や運転免許保持者に資料を工夫した「チェックリスト」を配付し、注意を喚起する。	事故防止会議において、資料を配布し、意識啓発を図った。	時間の関係もあつたため、チェックリストは各自が行った。周知、チェックの徹底が必要である。
ii	平成29年11月までに交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止に関する啓発資料、チェックシート等を作成し、職員会議等で配付し、事故の未然防止に向けた意識啓発を図る。	12月の事故防止会議において「交通事故防止・交通法規の順守」に関する資料を配布し、意識啓発を図った。	車や免許を持たないものも含め、さらに意識が高められるよう継続していく必要がある。

<共通課題> ⑦ 業務執行体制

目標	業務の執行体制の不備による事故を未然に防止する。		推進担当: 総務・管理G
	行動計画	達成事項	反省点・課題
i	引き続き、各グループ業務の見直しと次年度に向けた業務の再編整備を進める。	昨年末に業務内容を整理し、それに基づき各グループ業務を実施した。	現状に合った業務の見直しを今後も追及・検討する必要がある。
ii	執務環境の整理整頓及び美化清掃を推進し、業務の円滑な執行体制を整備する。	体育館倉庫の整備や、使用されていないロッカーの整理、計画的な粗大ごみ回収を実施した。大掃除などでは普段できない体育館シートなどの整備を実施した。	大掃除での着替えが徹底できないクラスがある。また、トイレや階段などの清掃点検を実施する必要がある。
iii	不祥事ゼロプログラムに係る具体的な取組及び実施状況を継続的にとりまとめる。	不祥事ゼロプログラム及び事故防止会議について周知するとともに、年度末には検証しその成果を全職員で確認する。	今後も継続実施する。

<共通課題> ⑧ 会計事務等の適正執行

目標	現金管理を含む私費会計の適正な処理を行う。		推進担当: 事務及び管理職
	行動計画	達成事項	反省点・課題
i	今年度についても部活動顧問総会で「予算の執行方法について」を配付、また「私費会計の適正な執行について」を職員会議で配付し、私費会計事務全般の適正な運用について周知する。	5月(私費会計の執行について)事故防止会議で私費会計事務全般の適正な運用について周知し、その都度ケースに応じた個別指導を行った。	引き続き、私費会計の事務について周知し、チェックを徹底する必要がある。
ii	財務事務調査の結果を踏まえた事故防止研修会を開催し、問題点はすぐに改善する。	11月の事故防止会議で財務事務調査結果(部費・合宿費・学年会計・教育振興費・PTA会計)について資料配布し、問題点を中心に周知・徹底した。	指摘のあった事項についてはすぐ見直しを行い、改善を行った。引き続き、私費会計事務について周知し、チェックを徹底する必要がある

<共通課題> ⑨ 入学者選抜に係る事故防止

目標	入学者選抜におけるミス完全にゼロにする。		推進担当: 入選委員会
	行動計画	達成事項	反省点・課題
i	入学者選抜に関するマニュアルを作成し、職員会議での読み合わせを行い、未然に事故を防止する。	1月に「入選マニュアル」読み合わせの臨時職員会議を開催し、その内容を周知するとともに事故防止会議にて「入学者選抜に関する事故防止について」資料配布し、過去の事案についての防止策や、点検項目等を確認した。	今後も事故が起きないよう、意識の高揚に取り組む必要がある。
ii	調査書点検等に係る点検項目を作成し、誤入力や点検漏れの徹底を図る。	役割分担を明確にし、確実な作業を行った。特に点検作業は丁寧・正確に行った。	正確に実施できた。
iii	特に採点業務に関しては、県の新しいプログラムに従い、県民の信頼に応えるようミスゼロを確実に達成する。	採点研修を3回実施するとともに、採点マニュアルをしっかり理解して業務に当たった。	正確に実施できた。

<独自課題> ① 各種伺いや認定の届出

目標	各種伺いや届出等の漏れや誤申請を未然に防止する。		推進担当: 事務及び管理職
	行動計画	達成事項	反省点・課題
i	各種届け出等に漏れがないよう、適宜点検及び指導を行う。	起案様式を徹底し、より起案内容を明確に把握できるようにした。非常勤講師や教員補助者の勤務変更等確認用紙を作成し的確な管理を行った。	起案の作成の仕方については今後も日常的に指導していく必要がある。

<独自課題> ② 徹底した情報の共有化

目標	「報・連・相」による情報の共有化の徹底を図り、組織的な学校運営に取り組み、事故・不祥事を未然に防ぐ。		推進担当: 管理職及び企画会議
	行動計画	達成事項	反省点・課題
i	日々、起こりうる事故防止に向け、年間を通じて「今週(または本日)の一言」として全職員で確認する。	朝の打合せで「今週の一言」を管理職が常に確認し、職員の意識を啓発した。	事故防止に対する意識は高まっているが、油断が禁物で今後も意識の高揚に努める必要がある。
ii	管理職への連絡体制のさらなる確立と、情報の共有化の徹底を図り、いかなる案件の処理についても管理職及び関係グループ(学年)リーダーからの指示の元、組織的に対応する。	職員の報告体制は概ねできていた。文書化された報告による情報の共有化も進んできた。	「報・連・相」に基づく、より一層の情報の共有化の徹底を図る必要がある。

<独自課題> ③ 電話対応・来客(保護者)対応

目標	県民対応の基本として、事故を未然に防ぐ。		推進担当: 事務及び管理職
	行動計画	達成事項	反省点・課題
i	対応マニュアルを作り全職員で確認する。	6月の事故防止会議(電話対応・来客対応について)で資料を配布し、電話や来客対応の基本等を確認した。	全職員に周知されるよう今後も継続して取り組む必要がある。